

香川大学医学部附属病院

実施日	令和7年8月6日(水)	実施時間	8:30 ~ 12:30
参加人数 計 10名	小学生1名(男1名・女0名) 中学生0名(男0名・女0名) 高校生9名(男0名・女9名) その他0名(男0名・女0名)		
実施 プログラム	・納田副看護部長講話「看護の仕事とは」 ・看護体験：バイタル測定、手洗い実習、点滴準備体験 ・病棟見学：一部署1～2名、看護師のシャドーイング ・ヘリポート見学：ドクターヘリ見学、記念撮影 ・座談会、感想文記載、記念写真配布		
実施内容	本年度も例年同様、多くの方々にご応募いただきました。定員の都合により、誠に残念ながら4名の方には参加をお断りする結果となりました。 看護体験では、点滴準備の実習が特に印象深かったようで、参加者からは清潔操作の重要性や安全管理について多くの感想が寄せられました。また、病棟見学では、看護師の業務だけでなく、多職種との連携やコミュニケーションの場面にも関心を持ち、積極的に学ぶ姿が見られました。 参加者からは「楽しそう」「カッコいい」「魅力的な仕事」といった前向きな感想が多く寄せられ、短時間ではありましたが、看護師の仕事に直接触れる貴重な機会となったことがうかがえます。 今回のふれあい看護体験を通じて、看護職の魅力を感じていただき、今後の進路選択の一助となることを願っております。		



参加者の声

点滴の体験が印象に残りました。患者さんの状態に合わせて1時間に何ml落とすかなど、確認がとても大事だと分かりました。（高校3年生）



将来フライトナースになりたいと考えています。フライトナースになり人々をたくさん助けることが自分の中で一番嬉しいことなので、どんなに苦しい事があっても乗り越えて、絶対夢を現実にできるように頑張ろうと、今日この病院で体験してさらに強く思うことができました。

（高校3年生）

病棟見学が一番印象に残りました。看護師さんは病室だけでなく、患者さんとすれ違った際にも、しっかり顔を見て話しかけているのを見て、私も患者さんとのコミュニケーションを大事にできる看護師になりたいと改めて感じました。

（高校3年生）



「看護の仕事とは」というお話で、患者さんの生活を中心に医療を提供する、看護師が患者さんの生活の一部になること、その人らしく生活することが目標だということが印象に残りました。私も患者さんの生活を一番に考えられる看護師になりたいと思うことができました。

（高校3年生）